



郵便
報知新聞
 第四百五十五号

尾州知多郡龜崎に於て家高軒と並て
 多き中地名を以て家号と爲る酒造家
 這の家に年々禪祭と唱ふる事あり如何哉
 故を尋る主人其今う卅年の前
 屆岳を登りて絶頂に婦人の禪と垂て
 たるをるる女人禁制の霊場斯る物の有
 言やほこれ我運の啓る時とんと持
 歸りて鱒の頭も信心がたに因りて
 是より家置盛旺して財貨ハ富ま岳
 ち以迄は蓄へて毎歳件の禪と廳
 の中央に安置して海有山珍とある人
 参詣の群聚は郷里に心を例りて
 一日は千金の費をとりて豈淫瀆祭
 事とばや

龍洲漁人記



大坂野村

